



商工あみ

URL:<http://www.ami-shoko.com> E-mail:ami46@peach.ocn.ne.jp

阿見町商工会
阿見町岡崎3-17-9
TEL 029-887-0552
FAX 029-887-0342

発行責任者 柏崎久雄

商工会員数 785名
青年部員数 40名
女性部員数 71名

さて、中小企業の景況は緩やかな改善傾向にあります。新規開業の停滞、生産性の伸び悩みに加えて、経営者の高齢化や人材不足の深刻化といった構造的な課題が多くあります。特に我々規模事業者にとっては、いまだ、厳しい状況は変わりません。こうした状況の中、起業・創業によりノベーションが起り、既存企業は成長を目指し、事業や経営資源（撤退企業を含む）が円滑に次世代に引き継がれるというライフサイクルが必要とされています。商工会においては会員企業の減少などに歯止めがかからず、大変厳しい状況です。このような中、組織力強化は当会の最重要課題として考えられます。昨年中は従前の加入推進はもとより、これから事業を開始される方々を対象にした阿見町創業支援ネットワークの阿見町特定支援事業（あみ起業セミナー）を開催することでの商工会をPRし、加入推進に取り組んでまいりました。本年も引き続き、国で掲げている新規企業の開業率向上に貢献できるよう創業支援に取り組んでまいります。そして、新規創業者会員や既存会員の皆様方に對し、職員が企業と共に考え支援する「伴走型」の支援体制についても注力してゆきたいと考えております。商工会スローガンは「行きます、聞きます、提案します」です。今後も商工会役職員一同、全力で支援して参りたいと考えております。

新年明けましておめでとうございます。会員皆様におかれましては新春を健やかにお迎えの事とお慶び申し上げます。そして、目頃より商工会事業運営に力強い支えを頂き様な商工会事業を実施できました。心より厚く御礼申上げます。



阿見町商工会
会長 柏崎久雄

(株)柏崎工務店
(荒川本郷)



22日は急遽選挙の影響により、例年同月開催していた「さわやかフェア」が中止となつてしまい、「あみ商工まつり」と県立医療大学の学園祭「創療祭」が開催となりました。今年度グランド・ステージ両部会で新たな事業を企画。グランド部会の「サイクル車事業」は、3月に町で開催予定のサイクリングイベント「アーミーライド」のPRも兼ね、町内のお店を回りスタンプを押してもらうスタンプラリー。会場に来ている小学生対象にテント内で自転車自走状態でのスピードを競うトーナメント開催を計画しました。ステージ部会では「いきいき茨城ゆめ国体2019」のセーリング競技イメージソーニングを歌つていいる「みんないモンスター」のライブを開催しました。また、毎年ステージとして使用しているトラックをもう1台増やしステージ内容の円滑化を図つたりと、たくさんの工夫を凝らし準備を進めました。これまで、まつりに参加が少なかつた若い年齢層の人達に参加してもらい、より多くのお客様に来ていただこうと企画しました。

しかし季節外れの台風21号の影響により週末のお天気は雨模様。残念なことに当日は早朝から雨が降り出してしまいました。サイクリング事業のスタンプラリーは一部中止となつてしましましたが、雨天でも影響が出ない様な内容に変更して実施しました。朝6時30分に花火を打ち上げて開催のお知らせを行つたおかげか、傘やカツバを着て足元が悪い中でもたくさんのお客さんが来場してくださいり、町民皆さんのお客工まつりへの大きな期待を感じました。

最後になりますが、まつり開催へご協

阿見町特定創業支援事業「あみ起業セミナー」が開催されました

「99.7%」「3人に2人」——。これは日本の企業全体に占める中小企業の“数”と“従業員”的割合です。新しい産業や雇用機会を創出したり、地域経済を活性化したりする中小企業は、まさに日本経済の基盤といえる存在であり、現在世界的な大企業の多くも、もともとは町工場などから起業・創業しています。阿見町では今年度から、国の認可を受けて阿見町創業支援ネットワークを構築し、その一環で創業支援を行っております。商工会でも、そのネットワークの枠組みとして「あみ起業セミナー」(阿見町特定創業支援事業)開催いたしました。本事業を受けられた方は、阿見町から認定創業予定者として様々な支援を受けることができ、その一つが阿見町役場の「阿見町創業支援補助金」(補助限度額30万(補助率50%))です。女性や若者などを中心に起業家たちがどれだけ活躍できるかにかかっています。「経営一般」、「財務・会計」、「販路開拓・マーケティング」、「人材管理育成」、「ビジネスプラン作成」の基礎メニューを5回の講習で学んでいただき、最終日にその成果を発表して頂きました。受講者25名と大変盛況であり、最終日の発表会では書類審査を通過した上位8名の方々が自身の夢・事業計画などを発表されました。審査員は、中小企業診断士、金融機関など4名で構成され、阿見町本郷在住の菊池さんが見事優勝されました。優勝された菊池さんと2位の萩原さんには阿見町商工会長の推薦を受け、来年1月に開催予定の「全国認定創業スクールビジネスプランコンテスト」にエントリーいたします。全国大会の書類審査を通過され、全国大会に出場できることを願っております。





(3) 第78号

阿見町商工会青年部部副部長 雨貝 佳典

茨城県商工会青年部ジュニアサッカー大会

Jリーグ2017シーズン最終節開催日の12月2日(土)我ら茨城県が全国に誇る常勝軍団【鹿島アントラーズ】のホームスタジアムである県立「カシマサッカースタジアム」で青年部主催の少年サッカー大会が開催されました。

当日は天候にも恵まれ、素晴らしい会場でこれから日本の将来を担う子供たちの素晴らしいプレーを見ることができました。特に今年は青年部の県南ブロック代表として阿見から「阿見FC」の子供たちが16名参加しており、応援にも力が入りました。1試合目2試合目とも前半の集中力が後半に続かず惜しくも敗れて予選敗退でしたが、どの選手も激しくボールを奪いに行っているので、野球経験者でシロウトの私が見てわかるくらいの接戦。いい試合でした。先制点がどれていれば!流れが変わった!残念!という感じでした。

最後になりますが、この大会に参加してくれた選手の皆さん、本当にありがとうございました。素晴らしいプレーの数々で僕も元気をもらいました。我々阿見町商工会青年部は、これからも地域のため頑張って行きたいと思っています。

女性部日帰り研修 「場所・東京都」

平成29年11月8日(水)



女性部手作りブローチ

阿見町の思い出と一緒にブローチはいかが?

今年の女性部の日帰り研修は、ちょっと近めの東京都内へ。まずは「田崎真珠」で有名な株式会社ASAHIの紀尾井町店にて、お店や商品のパールについてのセミナーを受けました。お話の中には専門店だからこそできるパールのロングネックレスをレンジして身に着ける方法なども聞いたのち、いざ店内見学へ!店内4,000点ある素敵な商品の数々にうつとりしてしまいました。昼食の後、商売人には欠かせないのが『お金』ですよね!ということで、日本橋にある貨幣博物館に向い、古代から現在私たちが普段使っている貨幣に至るまでの歴史を改めて学びました。入館の際に手荷物検査や金属探知機を通るセキュリティチェックにびっくり!また館内には1億円分の紙幣の重さを体験するコーナーがあり、1億円のずつしりと重たい感触を体験してきました。最後に、貨幣博物館からほど近い三井記念美術館を見学し精巧な工芸品の数々に目の保養と審美眼の鍛えられました。

女性部では2年に一度視察研修を行っています。日頃の部員の疲れを癒す?旅行で新しい部員の参加もありより一層の「絆」を深める旅であります!

今年度は北海道へ行き、「小樽と札幌」を中心回りました。研修先の一つ「日本銀行小樽資料館」では日本銀行が行っている主要な業務を紹介したり、世間に回るお金と経済の動きを観察できるコーナーなどもあり大変勉強になりました。

しかし、青年部旅行の楽しみはなんといってもおいしい物を食べる事。テレビなどで何度も紹介されているお店に事前に予約をとり、食べてきました。お店に事前に予約をとり、食べてきました。帰る時には疲れ切つておりましたが、部員の団結力がより一層高まつたのではないかでしょうか?

さて、今年4月上旬には「さくらまつり」が開催予定となつております。現在青年部一同全力でこの事業を進めております。新しいイベントなども検討中です。会場に足をお運び下さい。



青年部視察研修旅行 「場所・北海道」

阿見町商工会青年部部長 久保谷 敦

青年部・女性部まいあみまつり

平成29年8月5日(土)・6日(日)

女性部バザー&子供用くじ引き 青年部射的・輪投げが大盛況



昨年の「まい・あみ・まつり」では青年部員の石部克彦さんが実行委員長を務め、副実行委員長に杉山智之さん、実行委員として館野幸一さん、女性部員の宮崎千五さんと永井みづ子さんが広報協賛部会、またステージ部会で理事の宮本和浩さんがあつまつ私たち女性部員が手作りしたブローチは、たくさんのかどいと、予科練生が飛行練習に使つていた飛行機の愛称が「赤とんぼ」と呼ばれていたことから。また「さくら」は、桜の木が町の樹木になつてること、また予科練生の制服の七つボタンに桜の模様が描かれていることから構想し作成しました。

あつまつ
まい・あみ・まつり

今年の「まい・あみ・まつり」では青年部員の石部克彦さんが実行委員長を務め、副実行委員長に杉山智之さん、実行委員として館野幸一さん、女性部員の宮崎千五さんと永井みづ子さんが広報協賛部会、またステージ部会で理事の宮本和浩さんがご活躍されました。本当に疲れさまでした。

模擬店部会が商工会から町へ戻り最初の年となりましたが、トラブルもなく、実行委員の皆様には大変感謝いたしております。ファイナーレでは、ステージ上で感動の涙を流している姿が見られました。実行委員の方々は本当に大変だったのだと感じました。来年以降も商工会は町の一大イベントを盛り上げたいと思います。

初日(土曜日)は女性部がバザーとくじ引きを行い、バザーでは部員の持ち寄った品々が次々に売れていき、アツという間に完売。子供用のくじ引きでは子供たちが目を輝かせながら楽しんでいました。

2日目(日曜日)は青年部で射的・輪投げを実施。子供たちが行列を作り、自分の番が回つてくるのを樂しにしていました。



